

第4回すくわくプログラム【テクスチャーアート】



10:00説明 テクスチャーアートという言葉に不思議そうな様子の子も達。実際の完成品を見たり触ったりすると「ぼこぼこしてる！」と興味を持った様子でした！



講師の先生が色を混ぜている様子を見て、目を輝かせていた子ども達です！何色を使いたいイメージを広げ、「赤と黒にする！」「緑と水色にするー！」と思いついた色を口にしています。



選んだ色を2色と、モデリングペーストを牛乳パックのパレットにのせてもらい、落とさないように机に運んでいました。



10:10製作開始 単色で塗りたい場所や少し重ねたい場所など、こだわりながら色をのせていました。



「見て！混ぜたよー」「かわいい色だね」とお友だちや保育者と話しながら楽しんでいる様子でした。



キャンパスの上で絵の具を混ぜたり、のせた絵の具をペインティングナイフで切るように模様をつけたりしていました。





キャンバスを持ちながら、真剣な様子で色を塗っていました。



10:45完成 完成した作品を眺めながら、「早く乾かないかなー」「もう乾いたかな？」とお家に持って帰るのを心待ちにしている様子でした！



完成した作品を一つの机に並べて、みんなで鑑賞しました。お友だちの作品を見て「素敵だね」「天の川みたい！」と感想を伝えあっていました。

好きな絵の具2色とモデリングペーストを牛乳パックのパレットに乗せてもらい、ペインティングナイフで少しずつ混ぜて、キャンバスに塗りました。ペインティングナイフで模様を作ったり、絵の具を盛り上げるように塗ったりして完成です！

とうきょう すくわくプログラム活動報告書



施設番号	
施設名	アンジェリカ保育園品川園
施設所在地	港区港南1-3-13品川フロントビルキッズ館2F
法人名	株式会社WITH

1. 活動のテーマ

<テーマ>

『色』 自己肯定感を高めるアート活動

<テーマの設定理由>

5歳クラスで体験してきたふれあいアートなどに興味関心を示していたことやプレイフルキットでの遊びを楽しむ様子から、絵画や造形活動などを保育に取り入れたいと考えていた。認証園で幼児クラスとして3歳～5歳が合同で過ごす中で、アート活動や様々な素材に触れ自由に創作する時間をより多くすることで、集中できる活動や時間を持ち一人ひとりの持つ力をより引きだしたいと考えた為。運動やリズム活動など以外にも、自分の好きな事を見つけて楽しむことが自信につながるよう、活動の過程を楽しめるような関りをしていきたい。

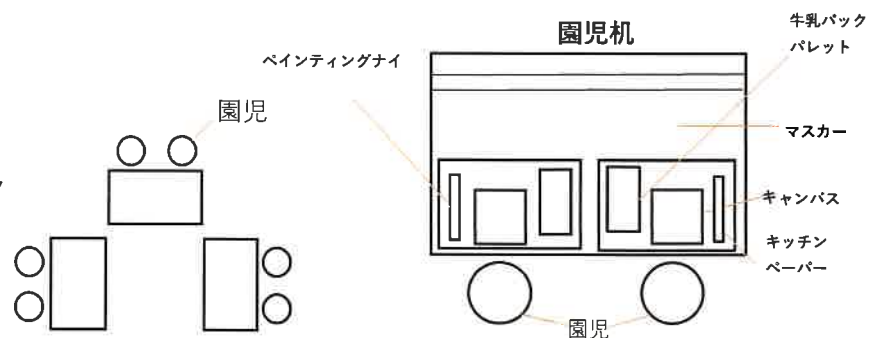
2. 活動スケジュール

別紙に記載

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

- ・ マスカー
- ・ キャンバス
- ・ キッチンペーパー
- ・ 絵の具
- ・ ペインティングナイフ
- ・ モデリングペースト
- ・ 牛乳パックパレット



4. 探究活動の実践

<活動内容・活動の様子の写真>

別紙に記載

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

別紙に記載

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

テクスチャーアートやモデリングペーストなど、馴染みのない言葉に不思議そうな様子が見られたが、講師が実演しながら説明することで、イメージを持って取り組むことができた。「もこもこしてる」「どうやったらできるかな?」と素材の感触や表現方法について友だちと話しながら、自分なりの表現を考える様子から、想像を広げながら試行錯誤する力が身についていることを感じた。

完成後の作品鑑賞では、「チョコクリームになったんだよ」「天の川みたいだね」「つんつんしてるところがあるんだね」など、作品をよく観察しながら感じたことや想像したことを言葉にしていた。一人ひとりが異なる見方や感じ方を認め合う姿から、鑑賞の時間は表現するだけでなく、自分や友だちの作品の良さに気づく貴重な機会になることを改めて感じた。今後も、製作だけで終わらせるのではなく、互いの作品について話す時間を大切にしていきたい。